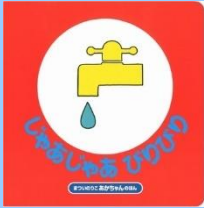




えほんだより 冬号☆

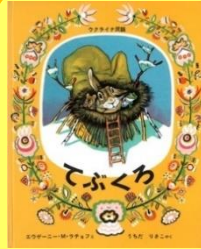
子どもたちは普段の生活の中でのやりとりや絵本に出てくる言葉からさまざまなことを学んでいます。絵本を通して、やさしい言葉やあたたかい言葉であふれるような関わりを大切にしています。

お家でも、ほっこりする親子の触れ合いや絵本の時間を取り入れてみてはいかがでしょうか。そこで、今、子どもたちが保育園で読んでいる絵本や冬にぴったりの絵本をご紹介します！



じゃあじゃあ
ぴりぴり

わかりやすい絵と、リズムカルな音がつまった絵本です★
鮮やかな色彩が広がり、絵に合わせた擬音語が聞こえてきます！



てぶくろ
(ウクライナ民謡)

あたたかい手袋の中に、
次々にやって来る動物たちが
個性的豊かでそれを表す言葉の
表現も面白いです！



おしくらまんじゅう
作：かがくい ひろし
絵：かがくい ひろし

まんじゅうに押されるのは、
まんじゅう・こんにやく・納豆に
それから幽霊・・・？
どんな最後になるかはお楽しみ★



おばけだじょ
作：tupera tupera

「こわいじょ こわいじょ おばけだじょ」
こわいような・・・こわくないような？
一体何が起きているのでしょうか。



てぶくろをかいて
作：新美 南吉
絵：いもと ようこ

母さんぎつねは、子ぎつねのために
手袋が買いたいのですが、人間が
怖くて町へ行けません。そこで・・・
動物と人間の暖かい愛でほっこり。



ねずみくんの
チョコッキ
作：なかえ よしを
絵：上野 紀子

お母さんが編んでくれた赤いチョコッキ。
次々に動物がやってきてチョコッキを
着るのです。みんな着れて嬉しそう。
ねずみくんの大切なチョコッキ。
一体どうなるのでしょうか。



もりのおふろ
作：西村 敏雄

森のおふろにライオンがやってきて、
体を洗い始めます。ライオンはゾウに
背中を洗ってもらいます。
次々に動物がやってきて・・・
お風呂に入るといい気持ち！



しんせつなともたち
作：ファン イーチュン
絵：村山 知義
訳：君島 久子

食べ物のない冬、雪に中で2つの
かぶを見つけた子うさぎ。
思いやりの心を乗せたかぶが、
動物たちのもとをめぐっていきます。



かさじぞう
再話：せた ていじ
絵：赤羽 末吉

編み笠を作って暮らしているじいさんは
正月の餅を買うために、笠を5つ持って
町に売りに出かけましたが、さっぱり売
れず。野原に立っているお地藏様に、
雪が積もっていたので、持っていた笠を
全部かぶせてあげました。すると・・・